



ホームページ <https://www.shizenha.net/osaka/>
 フェイスブック <http://www.facebook.com/coop.shizenha.osaka>

注文専用ダイヤル フリーダイヤル **0120-408-154**
 携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154
 携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321
 受付時間▶①10:00~21:00 ②~④8:00~21:00 ⑤8:00~10:10

組合員サービスセンター フリーダイヤル **0120-408-300**
 携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008
 携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-663-0080
 受付時間▶①~④8:30~20:00

イベントのお申し込み方法

お電話で
 メールで
 FAXで

①イベントID
 ②組合員名
 ③組合員コード
 ④参加人数・参加者名
 ⑤連絡先
 ⑥託児の有/無とお子様の氏名・年齢(月齢)・性別
 ※託児を設けているイベントに限りです

メール **kodama07@shizenha.co.jp**
 ★件名には必ず「コープ自然派イベント申込」と記入の上、送信ください。

ファクシミリ **072-635-0776** 受付時間 24時間

フリーダイヤル **0120-408-300** 受付時間 月~金 8:30~20:00
 携帯・IPフォンからは **088-603-0080**

※お申し込みのメールを受信後、いただいたメールアドレス宛てに確認のメールを送信いたします。FAXの場合は、担当者より確認のご連絡をいたします。(携帯電話で送受信をされる方は、パソコンからのメールも受信されるよう設定をお願いします。)※メールまたはFAXでお申込みされた後、2営業日を過ぎて返信がない場合は、サービスセンター(0120-408-300)へお問合せください。※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選となった場合は落選者のみ、申込内容の【⑤連絡先】へ連絡させていただきます。

※託児利用の際は開催日より一週間前が締切日になります。
 ※イベントキャンセル料についてのお知らせ
 イベント開始前までにキャンセルのご連絡いただけない場合は、イベント参加費・材料費・託児費を商品代金と一緒に支払いいただきます。イベントに参加できなくなった時は、イベント開始前までに必ず組合員サービスセンターまでご連絡ください。

イベント開始3時間前に気象警報が出ていた場合、イベントが中止となります。詳しくはHPをご覧ください。



New イベントID: 07233741 主催: 理事会 (和歌山エリア)
親子で楽しもう! ~紀の川市の田んぼで小さな生き物探しをしよう2023~

農業を使わない田んぼは生き物の宝庫です。紀の川市にある片山農園の田んぼで小さな生き物探しをしませんか?ホウネンエビやカブトエビ、ゲンゴロウの他、カエル、カワナ、タニシ、ドジョウなど様々な生き物を見つけることができます。講師の先生から、生き物についてのお話も聞けますよ♪

◎当日の予定 車・電車それぞれの集合場所から田んぼまで移動(自家用車orコープ自然派の車で輸送 10分弱)→田んぼで生き物探し(1時間)→打田生涯学習センターに移動→休憩(水分補給・トイレ)→室内にて生き物調査

※帽子や水分等の熱中症対策を各自お願いします。
 ※少雨結構ですが、参加されるかどうかはそれぞれのご事情によりご判断下さい。中止の場合は、当日の朝、7時の時点で判断し、電話連絡します。
 ※お申し込みの際に、当日の交通手段(車OR電車)をお伝え下さい。

■日時: 7月30日(日) 9:00~12:00 9:00
 ■場所: 紀の川市打田(パナソニック和歌山工場近くの水田)
 ■集合場所: <車の場合>打田生涯学習センター駐車場
 紀の川市西大井363番地
 <電車の場合>JR打田駅前

■講師: 片山篤さん 片山農園、農園主。無農薬・無肥料で米や果物を栽培。若い世代の就農もサポートにも力を入れ、紀州農レンジャーの代表も務めている。

有本智さん NPO法人 自然回復を試みる会・ピオトープ孟子所属。長年和歌山県内の自然観察会(鳥類・哺乳類・両生類、爬虫類、昆虫類)の講師や子ども向け環境学習の講師などを務める。和歌山県環境生活総務課アドバイザー。

■参加費: 組合員300円、組合員以外450円、子ども(年齢4歳~小学生)200円
 ■定員: 10組
 ■託児: なし。託児対象外(1歳未満)・子どもの同伴: 可
 ■持ち物: 虫取り網、水中の虫をすくう網、かご、バケツ、ビニール袋、着替え、帽子、タオル、飲み物、筆記用具

■お詫びと訂正
 WA14-②号にて掲載したこちらのイベントIDに誤りがありました。たたくは、07233739です。訂正してお詫び申し上げます。

当日の連絡先: 080-8924-1940 (8:00~9:00までつながります)

イベントID: 07233739 主催: ビジョンつなぐ

夏休み企画 今こそ考えよう
「大きな地震が起きた時、原発はどうなるの?」

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。当時福島に住んでいた宇野さんは、福島第一原発が大変な事になったと聞いて、何が起きているのか分からないまま、着の身着のまま4歳の娘さんと共に関西へと避難されました。震災の事を教科書やニュースでしか知らない世代が増えてゆく中、宇野さん親子がどのようにして避難されたのか、また関西にある原発でもし事故が起きたらどうすればいいのか、親子での避難を経験された宇野さんからしか聞けないお話をうかがいます。12年経った今、改めて災害時における原発の危険性について考えてみませんか?

※対象: 小学校高学年~
 ■日時: 7月23日(日) 10:00~12:00
 ■場所: ドーンセンター 4階 和室1, 2
 (大阪市中央区大手前1丁目3-49 最寄駅: 地下鉄谷町線 天満橋)

■講師: 宇野朗子(うの さえこ)さん
 講師プロフィール: 埼玉県生まれ。1999年福島市へ移り住む。2010年3月福島県にてプルサーマル受け入れに反対したことから脱原発運動に関わりはじめる。集会や記事執筆などを通して福島の現状を伝え、子どもたちを守るための活動を続けている。「避難の権利を求める全国避難者の会」共同代表。

■参加費: 組合員300円 組合員以外500円
 子ども(高学年~中学生)100円
 ■定員: 20名
 ■託児: あり(1歳~未就学児まで)
 託児申込み締切日: 7/14(金)
 組合員500円/1名、組合員外750円/1名
 託児対象外(1歳未満)の同伴: 可・こどもの同伴: 不可(学習会のため)
 ■お詫び: 7/14(金)

当日の連絡先: 080-8924-1938 (9:30~10:00のみつながります)
 ※託児希望者多数の場合は抽選となります。

【報告】4/2 鈴木宣弘さん講演会 主催: 理事会
「迫る食料危機! ~私たちの食と農を守るためにできること~」

食料危機が迫ってきていることをひしひしと感じる今、食料自給率がなぜ大事なのか、これからの食の安全を守るためにどうしたらいいのか、東京大学大学院教授の鈴木宣弘先生をお迎えしてお話を伺いました。食料、タネ、肥料、飼料を過度に海外に依存している日本は、今後、もしも輸入がストップしてしまうような事態となれば、たちまち立ちゆかなくなる危うさがある。



それなのに、国は国民を守る食料安全保障の長期的、根幹的な視点が欠落している。相変わらず農家をつぶすようなおかしな政策がとられている。このままでは農業は消滅し、国民の命は守れない。輸入に比べてコストが高いように見えても、地域の農家を支えていくことが安全保障であり、地元の農業を縮小しないで確保していく必要がある。

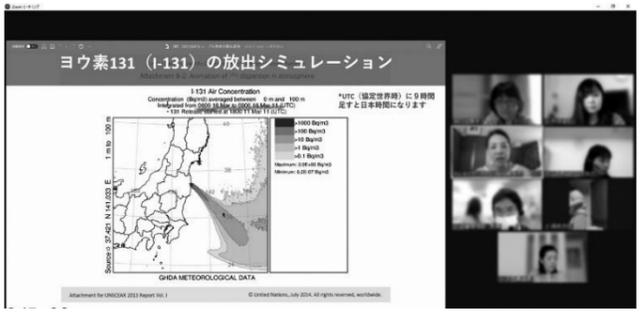
生産者と消費者は「運命共同体」であり、地域循環的にも農と食を支えていかなければならない。生産者が事業を継続できるように、できるだけ高く買い取り、適正な価格で買い支える「協同組合」のしくみが、今後ますます重要であり、日本の食料安全保障に少なからず貢献することになるというメッセージに、私たち組合員の日々の選択が果たす役割も再確認する機会となりました。

【報告】4/13 よりよい未来を残したい 主催: 理事会
~市民測定室から見る食べものの今~

市民放射能測定室みんなのデータサイトの中村奈保子さんに原発事故時の放射線による人体への影響についてお話いただきました。放射性物質を体内に取り込むとDNAが変異する場合もあり、内部被曝ばくの恐ろしさを痛感しました。3.11東日本大震災から12年、メディアでも福島第一原発事故のニュースは減り、関西では特に危機感が薄れてしまっています。しかしながら関西にある美浜・高浜・大飯原発がもし事故を起こした時のために避難経路の確認や、すぐ服用できるように安定ヨウ素剤を事前に取り寄せておいた方がよいなど、具体的なお話もしていただき、原発事故は決して過去の話では無いことを実感しました。まだ福島第一原発事故の問題が全く解決出来ていない状況で、政府は再稼働とともに新設を目指す方向にかじを切りました。安全神話が覆された日本だからこそ、脱原発に向けて声を上げていかなければなりません。

さらにコープ自然派事業連合の品質管理部馬場さんにも、コープ自然派の放射能検査の取り組みとして放射能検査測定室が出来た経緯について詳しく説明していただきました。コープ自然派では「内部被曝くにおいてはしきい値はない」という考えのもとで放射能検査を行い、その検査結果や産地をすべて公開しています。震災からわずか2ヶ月で放射能測定をおこないボスティに掲載(当初は外部機関に依頼)。そして半年後には機材導入というスピーディーな対応で検査、情報開示をしたのは生協の中でも異例の速さだったそうです。原発事故後、食品の放射能汚染が心配だという組合員の声から、不安にさせないためには数値で安心してもらいたいという想いからだったそうです。現在検査にはゲルマニウム半導体検出器を導入していますが、検体にも費用がかかり、この機材を動かすのにも維持するのにも費用がかかるというお話をうかがいました。さらに組合員の皆さんからのカンパによって高額なストロンチウム検査も外部機関に依頼しておこなっています。コープ自然派の検査の取り組みを一緒に聞いていただいた講師の中村さんは関東在住なので「コープ自然派の組合員の皆さんは安心できていいですね。うらやましいです!」と仰っていました。

今回参加費の一部をみんなのデータサイトに寄付させていただきました。ご参加された皆様ありがとうございました。





【くらしの見直し講演会】「時短で、手軽に、もっと家でおいしいごはんを食べたい! 食品のプロ 安部司先生に学ぶ『プロの手抜き和食』安部ごはん」

ベストセラー「食品の裏側 みんな大好きな食品添加物」の著者である安部司先生の講演会です。仕事に家事に育児に忙しい中、毎日の献立を考えるのって結構大変。健康的に過ごすためには充実した食生活が大切なのはわかるけれど、具体的に何をすればよいか、迷ってしまう。講演会では安部司先生が15年の間に書きためた膨大なレシピノートの中から、たった5つの「魔法の調味料」さえ用意すれば、誰でも自宅で、簡単に、時短で作れる「プロの手抜き和食」安部ごはんをご紹介します。日本の伝統調味料や「和食」のすばらしさを知っていただくともに、料理を「食事」と同じくらい楽しんでいただけるように「豊かな食生活づくり」「健康維持」に役立つヒントをお話していただきます。気になる食品添加物のお話、添加物を使った実験も行っていただく予定です。

■日時: 7月28日(金) 10:00~12:00

■場所: **ドーンセンター 5階 特別会議室**
(大阪市中央区大手前1丁目3番49号)

■講師: **安部司さん** 最寄駅: 京阪「天満橋」駅、Osaka Metro谷町線「天満橋」駅、JR東西線「大阪城北詰」駅

講師プロフィール: 1951年福岡県福岡市の農家に生まれる。山口大学文学部化学科卒業。総合商社食品課に勤務。食品および添加物に関する仕事に従事。退職後、加工食品の開発や海外(中国、アメリカ、東南アジア地域)においての食品の開発輸入に携わる。現在、無添加食品の開発や伝統食品の復興等に取り組んでいる。一般社団法人 加工食品診断士協会 代表理事 NPO法人食品安全グローバルネットワーク 理事 を務めている。



- 参加費: 組合員500円 組合員以外750円
- お申し込み後、キャンセルされる場合は必ずご連絡ください。
- 託児: あり(1歳~未就学児まで) 託児申込み締切日: 7/21(金) 組合員500円/1名、組合員外750円/1名
- 託児対象外(1歳未満)の同伴: 可、子どもの同伴: 不可
- 持ち物: 筆記用具 ※託児希望者多数の場合は抽選になります
- 定員: 100名(※応募多数の場合は抽選 外れた方のみご連絡します)
- 〆切: 7/21(金)

イベントID: 07233763 主催: 商品委員会

ランチ付
バスツアー!

お野菜を収穫体験! どうやって私たちのお家に届くかのぞいてみよう!

ポスティでおなじみ・野菜セットのココハウスさん。畑に伺い夏の元気いっぱい彩り豊かな野菜を収穫体験! コープ自然派に出荷するすべての圃場で有機認証を取得される「有機農業へかける思い」を語っていただきます。その後、コープ自然派事業連合の配送ピッキングセンターへ訪問。生協の商品セットの様子を見学します。どうやって箱詰めしているのかな? ラunchはセンターと同じ施設内にある食堂を利用します。すべて自然派で取り扱う材料を使った美味しいランチですよ♪親子そろってわくわく体験してみませんか? 心も体もパワーチャージ!!

※親子でなくても参加できます。
※バス乗車8:30天王寺→10:00
ココハウス→12:30連合→バス降車16:00天王寺解散
※行程の時間は多少前後することがあります。
※未就学児のお子様について: バスの座席とランチが必要な場合は子ども料金が必要です。
※お野菜を追加で収穫したい方は実費を現地支払いになります。



■日時: 7月27日(木) 8:20集合
(天王寺のルシアスビル前) ※時間厳守
8:30 天王寺出発 16:00 天王寺解散

■場所: [午前]ココハウス西戸田ファーム
(兵庫県神戸市西区西戸田548→連合)
[午後]コープ自然派事業連合 2階会議室

■講師: 小寺正信さん (ココハウス代表)
■参加費: 組合員2,500円 組合員以外4,000円
子ども(年齢7~15歳): 1,500円
連合でのランチ、収穫体験のお野菜付
■定員: 18名
■託児: なし。託児対象外(1歳未満)・子どもの同伴: 可
■〆切: 7/14(金)

当日の連絡先: 080-8924-1940
(8:00~8:30のみつながります)

【報告】 ■自然派シネマ

5/13 ちいさな企画名: 自然派シネマ小さな上映会
@からふる「戦地で生まれた奇跡のレバノンワイン」
(2020年/アメリカ/95分)

- 古くから地中海の交易の中心のひとつであった中東の小国レバノン。度重なる戦争に翻弄されてきた国だが、実は知られざる世界最古のワイン産地の一つだ。
- 爆撃されていても、収穫し運搬する。牢獄に入っても、拳銃をつきつけられても、ワインを命懸けで作る男たちの力強いすがた。どんなことが起こっても、ワインのために、屈しない。
- 「人間が戦っていても、酵母はワインを作る」「明日は今日より、良い日でありますように」祈りながら眠りにつく。彼らの一言一言が胸をうつ。シンプルに生き、変化を楽しみ、判断を急がない。爆弾が落ちる中、五感を研ぎ澄まし、静かにワインを楽しむ。
- 「戦地でできたワインほど強いワインはない」魂が込められたレバノンワイン。飲んでみたいと、映画をみた人ならみなそう思う。生きるとはなにか? ワインを通して感じられる映画だった。
- レバノンにかかわらず、土地に根ざして生き、土地の恵みを知り、酵母や見えざるものの力を信じ、真摯にもつくりこむ人々のひたむきな努力は、世の中を良い方向に導いてくれると信じている。



【報告】 ■自然派シネマ (和歌山)

5/24 自然派シネマ@わかやま 小さな上映会
「コスタリカの奇跡~積極的平和国家の作り方~」

- 和歌山センター活動室で初! 自然派シネマを開催しました。
- コスタリカがどのようにして軍隊を廃止し福祉国家を築いてきたか、大国の狭間で幾度となく戦争や紛争に巻き込まれそうになりながらも、外交と国際法を盾に再軍備しない道を選んできたか、その歴史を知ることができました。また、国民一人一人が平和と連帯を大切に、軍備拡大ではなく、教育や医療や文化的なことに予算を使う道を選んできたことがわかりました。
- 感想シェアの時間では、「コスタリカの人々の平和を貴く姿勢がすごい」「戦争は無駄なこと、その通りだと思う」といった意見が出されました。
- 今後も和歌山センターでは、皆さんの関心の高いテーマで、上映会を開催していきます。お気軽にお申込みくださいね♪



連合商品委員会から

コープ自然派の6つの生協の商品担当の理事が集まり、組合員の声を生かした商品づくりのため月に1度、会議を行っています。

組合員さんからの要望

【昆虫食】が利用される流れになっていますが、アレルギー等のことも有り心配です。

400gの豆乳ヨーグルトがほしい。国産大豆、添加物無し、味が良いものがあれば取り扱ってほしい。

お届けできない商品について。カタログに一目で分かるような工夫をして欲しい。別紙では確認しづらい。

生協からの回答

現状、コープ自然派としては『昆虫食』というジャンルにおいて商品としての取扱基準は設けておらず、食用としての昆虫の取り扱いはありません。また、食用のコオロギはゲノム編集が用いられる可能性があることから取扱いは難しいと考えております。

ご要望として承ります。なお、容量は食べきりサイズですが、国産大豆まるごとソイフローラ(90g)という商品を毎週企画しておりますので、こちらも併せてご検討いただけますと幸いです。よろしくお祈りいたします。

申し訳ありません。日生協のチラシはコープ自然派で作成しているのではないため、カタログに注文できない旨を記載することができません。お手数おかけして申し訳ありませんがご了承ください。オンラインのWEBカタログでは注文できないことがわかるようになっていきますので、もしよろしければ一度ご確認ください。

予告

主催: 理事会

田んぼの生きもの調査~いばらきの里山で生きものを探そう♪

今回の生きもの調査は茨木オーガニック農業推進協議会の野地さんの田んぼを調査します! 夏の暑さを楽しみながらみんなで水中の生きものを探して、講師の先生から生きもののお話を聞いてみよう!

■日時: 8月4日(金) 9:30~12:30 (受付開始9:20)
■場所: 竜王山荘 洋室

※詳しい内容は7月17日~配布のWA16号に掲載致します。(受付開始もWA16号配布以降となります)